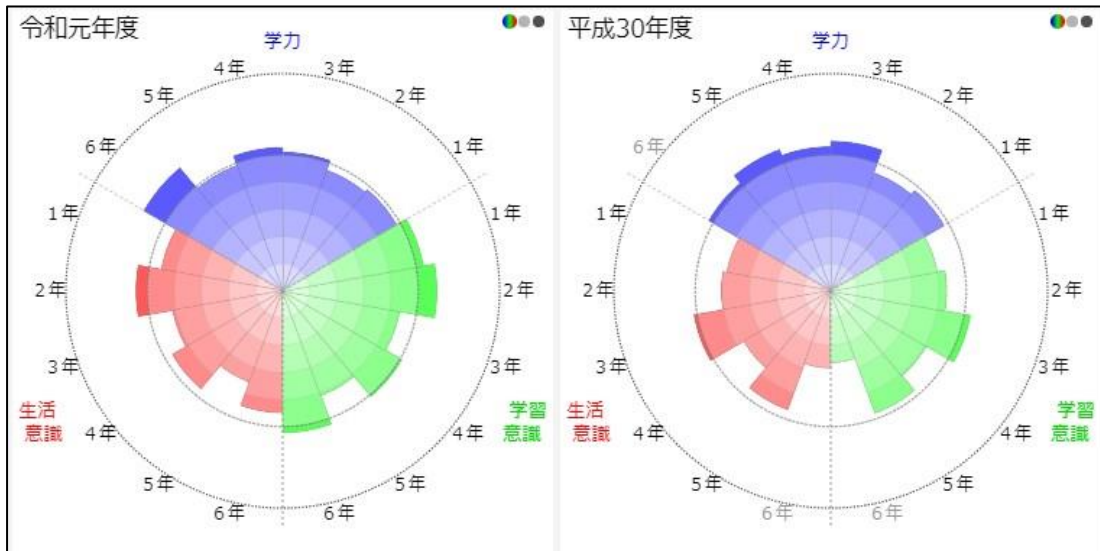


令和2年度 学習の取り組みについて

1 R元年度 横浜市学力・学習状況調査の結果から

(1) 学力の概要



学力面では、元年度3年生以上は横浜市の平均を上回る結果となっている。1・2年生は若干平均を下回ってはいるが前年度より向上している。学習意識・生活意識に関しては、昨年度課題としていた1・2年生の結果が向上した。家庭や地域との連携を大切にして取り組んだ成果と考えられる。3年生以上は若干の意識低下が見られるので、1・2年生同様の取り組みを意識していきたい。

(2) 教科学習の状況

※ 令和元年度の本校の横浜市学力・学習状況調査の結果（教科別標準化得点）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	99.7	98.3	100.9	101.0	98.3	102.0
社会			99.5	100.9	99.9	102.7
算数	99.6	100.2	99.4	100.4	101.2	102.2
理科			101.1	100.7	99.5	103.0

※標準化得点…横浜市の平均を100として、本校の得点を見たもの

○4 教科とも概ね市平均といえるが、2年国語は「知識・理解・技能」、5年国語は「話す・聞く」が低い数値を示しているため、令和2年度3年、6年は留意して指導にあたるようにしたい。

(3) 経年変化の状況

昨年の小中一貫ブロックの重点として取り組んだ「自己有用感」に関連する項目として「自分によいところがあると思いますか」は、「そう思う」が8ポイントと大きく伸びた。

また、「人の気持ちを考えて行動するようにしていますか」「あいさつを自分からしていますか」の項目も2年続けて「している」の割合が増えている。

数年前から下がり気味であったこれらの項目について学校全体で意識して取り組んだ成果と考えられるので、今後も大切にしていきたい。

